

令和5年度 第2回印西市在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議 会議議事録

日時：令和5年10月27日（金）午後2時～3時

場所：市役所別棟 農業委員会会議室

出席者：委員11名

欠席者：3名（飯塚 真司 委員・蓮實 篤祐 委員・筒井 慈子 委員） 傍聴者：1名

氏 名	備 考
河内 雅章	医療関係者の代表
永井 美奈子	医療関係者の代表
佐久間 郁美	医療関係者の代表
杉山 光枝	医療関係者の代表
新井 亨	介護支援専門員の代表
湯浅 恵美子	介護関係者の代表
吉川 貴雄	介護関係者の代表
伊奈 千春	介護関係者の代表
鈴木 誠一	印西地区消防組合の代表
村田 純子	認知症看護認定看護師
荒井 千景	地域包括支援センターの代表

事	務	局：高齢者福祉課長	澤田
		高齢者福祉課包括支援係	小塚
			赤間
			太田
		健康増進課庶務係	木村
		印西北部地域包括支援センター	工藤
		印西南部地域包括支援センター	太田
		船穂地域包括支援センター	吉橋
		本埜地域包括支援センター	鈴木
	初期集中支援チーム：日本医科大学千葉北総病院		齋藤

- 会議内容： 1. 開 会
2. 会議録署名委員の選出
3. 議 題
 (1) 印西市の認知症施策及び令和5年度事業について (公開)
 (2) 印西市認知症初期集中支援チームの活動報告について (非公開)
 (3) その他
4. その他
5. 閉 会

議事録 : 3. 議題 (1) (3)

議 長)

それでは、議題 (1) 印西市の認知症施策及び令和5年度事業についてです。
事務局説明をお願いいたします。

【資料1に基づき、事務局より説明】

議 長)

ただいまの説明に対してご質問ございますか。あるいは提案等ございましたらお願いします。

B委員)

認知症サポーター養成講座の実績報告の中で、小学生向けの講座は、今年度の人数が少ない気がします。理由はありますか。

事務局)

今年度の養成講座は11月に集中しており、少しスタートが遅れているという事情が影響されていると思います。

また、成人向けの講座は、例年、企業などからの申込みが年度末に集中しておりますので、これから増えてくるのではないかと思います。

議 長)

他に質問はありますか。

E委員)

チームオレンジの人数や具体的にどのような活動をしているか教えていただきたい。

事務局)

現在は、いんざい健康ちょきん運動の住民主体の自主活動グループの中で、認知症の方と一緒に活動をしていて、かつ認知症の方も役割をもち、皆で声を掛け合っとうまく活動している2グループをチームオレンジとさせていただきます。具体的には、本人の代わりに買い物に行くとか、送ってあげるという内容ではなく、ちょきん運動の日に声を掛けて一緒に会場に行き、認知症の方も役割をもって一緒に活動するという内容となっております。一つの団体は15名程度。もう一つは、20名弱くらいのグループです。

チームオレンジには、あらたに専門的な知識をもって活動してほしいと依頼しているわけではなく、このまま認知症の方と一緒に活動できる環境やそれに必要な知識をもつていただき、これからも認知症の方を受け入れて一緒に活動してくださるグループとして、チームオレンジを運営していただいております。

E委員)

認知症の方が仲間外れになることなく、皆と一緒に過ごすことができるように活動できることは素敵なことだと思います。認知症の進行予防にも繋がると思います。

議 長)

いんざい健康ちょきん運動のグループは市内全体でいくつありますか。

事務局)

現在は79グループほどで、認知症の方がいらっしゃるグループにお声かけさせていただいております。

議 長)

それでは、「議題3(3)その他」に移ります。委員の皆様から何かございますでしょうか。

それでは、以上をもちまして本日の議事を終了いたします。

ありがとうございました。

令和5年10月27日に行われた、令和5年度第2回印西市在宅医療・介護連携、認知症対策推進会議の会議録は、事実と相違ないのでこれを承認する。

令和5年11月 2日

署名委員： 荒井 千景

鈴木 誠一